

三大ヴァイオリン協奏曲の響宴

2023年春、拍手喝采が巻き起こった大人気公演再び!

国内外で活躍するヴァイオリニスト・松田理奈が、創立60周年を迎えた名門オーケストラ・札幌と共に、クラシックファンのみならず幅広い世代の人々から愛されてきた「三大ヴァイオリン協奏曲」を一挙に演奏! 高度な技巧と情緒豊かな表現で魅せる実力派ヴァイオリニスト・松田理奈が奏でるヴァイオリン協奏曲の名作をお楽しみください。



©K.Miura



松田理奈 / ヴァイオリン

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースにて研鑽を積み、ドイツ・ニュルンベルク音楽大学を卒業、同大学院を首席にて修了。2001年第10回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。2002年にはトップンホールで「16才のイザイ弾き」というテーマでソロリサイタル開催。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位、2007年にはサラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。これまで国内の主要オーケストラに加え、ハンガリー国立フィル、ヤナーチェク・フィル、スーク室内オーケストラ、ベトナム響など数々の楽団や著名指揮者と共演。2006年ビクターより『ドルチェ・リナ』、2008年に『カルメン』、2010年には『ラヴェル・ライブ』をリリース。イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲集は、「レコード芸術」特選盤に選出された。2018年にはブラームスとフランクのソナタを収録した5枚目のアルバムをリリース。オフィシャルホームページ <https://linamatsuda.com>



太田弦 / 指揮

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞。第30回(2022年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2022年3月末までの3年間大阪交響楽団正指揮者を務めた。2023年4月から仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。

札幌交響楽団 / 管弦楽



1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれ、2021年には60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。例年の年間公演回数は約120回。さらに小編成でのアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外ではこれまでにヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各地で好評を博した。現在は名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎、を擁し、2025年4月からエア・ス・グランディを首席指揮者に迎える。